



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだよ

第263号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

継続は力なり！

2017～18年度 テーマ プロバスクラブの道に終わりなし 生涯現役でクラブライフを楽しもう

第 263 回例会

日 時：平成 29 年 9 月 14 日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：57 名 出席率 89.1%

(会員総数 68 名 休会 4 名 欠席 7 名)

会食とハッピーコイン披露

山口例会委員長の進行で会食に入り、馬場副会長からハッピーコイン 14 件の披露があった。

(7 ページに掲載)

1. 開 会

山口例会委員長

第 263 回例会開催を告げ、配付資料の確認。

2. 会 長 挨 拶

武田会長

皆さん、こんにちは。どうやら、秋の風が吹く時節になりましたね。

昨日の夕暮れは夕焼けが格段の美しさでしたが、この週末は台風 18 号が上陸、列島縦断の到来が予想されております。自分の身を守る準備が必要です。

今朝方、埼玉県南部震源の地震がありました、今年は、世界的規模で気象が不順な年で、テレビニュースでは世界各地の豪雨や早魃、大地震が報道されています。また巨大太陽フレアの発生があり、地球が振り回されていますね。宇宙の片隅で何が起ころうとしているのでしょうか？

本日はお客様に東京八王子南ロータリークラブ会長の鈴木和夫様、パスト会長・副会長の清水宣彦様、パスト会長の廣瀬武彦様をご臨席です。お忙しいと



ころ有難うございます。

さて、八王子市は市制施行 100 周年記念ということで、4 月から様々なイベントが実施されています。周年事業の前半が終了しましたが、来年 2 月まで参加型イベントが多数企画されていますので、イベントガイドブックをご参照の上、是非興味あるイベントにご参加頂きたいと思います。

・後半の目玉事業の一つは、9 月 16 日から始まる「第 34 回全国都市緑化はちおうじフェア」です。山と平野と川の触れ合う町、八王子を花と緑で包むイベントです。

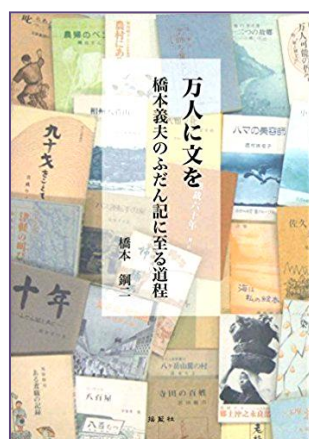
・二つ目は「ビジョンフォーラム」で、八王子の未来への提言を行う文化フォーラムとなっています。

・そして、10 月 1 日は市制 100 周年記念式典がオリンピックホールで開催されます。当クラブ宛にも式典への招待状が届きましたので、出席してまいります。

今日は、会員の皆様の嬉しい出来事を報告します。

① 橋本鋼二さんが 9 月 6 日、第 20 回日本自費出版文化賞の地域文化部門賞を受賞されました。

著書名「万人に文を～橋本義夫のふだん記に至る道程～」です(揺籃社出版 2017 年 4 月 5 日発行)。10 月 7 日にアルカディア市ヶ谷にて表彰式が行われます。おめでとうございます。



② 竹元正美さんがテレビ出演されます。

・9 月 16 日(土)午後 6 時 55 分 TBS テレビ「ジョブチューン」「国民の皇室への疑問すべて解決 SP！」皇室を支えるプロ



フェッショナル大集合という特集番組です。

・さらに「我は日本人なり」というタイトルで電子出版されました（オモイカネブックス出版）。

海外に渡ったフレッド和田勇、杉本鉞子(えつこ)という2人の祖国愛を描いた著作です。

一般書店では販売しておりませんので、購入は竹元さんにご相談ください。



③ 宮崎浩平さん。東京八王子南ロータリークラブからご依頼があり、10月定例会卓話に講師として「近世江戸時代の八王子を知る」という演題でお話することになりました。

今期の取り組みは温故知新という事で、例会の後半に杉山会員による「クラブ設立の経緯について」というテーマでお話をいただくことに致しました。

それでは、本日もプロバスライフを楽しくお過ごしください。

3. 来賓ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ会長

鈴木 和夫様

皆様、こんにちは。7月の表敬訪問でご挨拶をさせていただきました。私は生まれも育ちも長房です。私たちのクラブは会員数80名ほどおり、最近若い方がたくさん入会してくださいました。



年齢構成としては40代、50代、60代、70歳以上がちょうど20人ずつくらいで非常にバランスのよい年齢構成です。元々の八王子の住人は少なく、4割を切り、6割以上がよその地から八王子に來れて住むか、お仕事をされています。

私は子供時代にあちこち歩いていますけれど、最近歩く機会が少なくなりました。そこで八王子を見つめ直そうということをターゲットにして例会を組んでいただくよう、プログラム担当の委員会にお願

いをしております。

外から八王子に來られた方は、「多摩御陵って中に入れたの?」とか、古い写真集を見て「八王子に競馬場があったの?」とか、「都宮の長房団地は、以前陸軍の東京陸軍幼年学校があった」とか「多摩御陵用に京王線が走って御陵駅があった」など。

色々なことをよそから來た方は知らないし、私たちも身近なところしか分かっていません。話し合った結果、八王子を見つめ直そうということで、成果は求めずにまずは見つめ直して、八王子地域に対しての奉仕活動の芽ができればいいかなと考えて今年度の活動をしています。

その一環として、プロバスの宮崎さんとNPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会理事の中田さんに八王子を見つめ直すという意味で、卓話をお願いするためにお邪魔させていただいております。

どうぞよろしくお願いいたします。

東京八王子南ロータリークラブ副会長(パスト会長)

清水 宣彦様



長年、杉山様に大変お世話になり、八王子プロバスクラブと南ロータリークラブとは20年来のお付き合いでございます。

私が30周年の記念行事を行ったときにプロバスクラブから歌を頂戴いたしました。我々も負けてはいけないということで、一夜漬けて頑張ったのですけれど、やはりプロバスの皆さんにはとてもかないませんでした。

30周年の行事には300人以上のお客様をご招待したのですが、プロバスの皆様と南の皆様、八王子が一体となり、30周年の素晴らしい記念行事ができました。これも先輩の皆様のお陰だと思っています。

今頃になって30周年のご挨拶をするのはどうかと思いますけれども、これからも南と八王子、色々な形でお付き合いができますよう祈念いたしますと同時に、これからも何かとご相談をさせていただければと思います。ありがとうございました。

4. パースデーカード贈呈

武田会長より池田会員手作りのバースデーカードが9月生まれの会員に贈られました。おめでとうございます。



左より、馬場、吉田、野口、岡田、小林の5会員
(岡部会員は休み)

5. 卓 話

「元警視庁検視官の体験談～死者との対話～」

井上 克会員



警視庁勤務 38 年間のうち警視庁本部鑑識課勤務は 18 年間。そのうち 5 年間は検視官として勤めました。

検視官の仕事は殺人事件など、変死体のある現場に臨場し、現場観察やご遺

体の検視を行い、犯行の日時、場所、殺害の手段方法、犯人像等を推理し、全貌を明らかにすることです。テレビドラマで俳優の沢口靖子演じる「科捜研の女」の仕事そのものです。検視したご遺体は 510 体でした。

検視官として一番重きを置いたことは、「心に数珠を持ち、死者の尊厳を守り、ご遺体に寄り添い、誤検死をしないこと」でした。

検視官業務で大変だったことの一つに、感染症に罹患する危険があったことでしたが、幸いなことに私は罹患することはありませんでした。

長い鑑識勤務の中で記憶に残る事件は「地下鉄サリン事件」「ホテルニュージャパン火災事件」「赤軍派による浅間山荘事件」「三島由紀夫陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地総監室立て籠もり自殺事件」です。

次に、多数の検視で感じた「死者の顔相」について述べてみたいと思います。

顔相には死者の直前の心の「有り様」が現れます。穏やかな気持ちであればそのままに、憤怒のときに

は浅草寺宝蔵門の仁王像の様に「夜叉の如し」です。自宅の布団の中での死は普段通りに、夫婦心中は穏やかなままです。

人間、死ねばだらりと横たわるのが普通ですが、法医学では「強硬直」と言われるもので、脳のある部位が損傷されると瞬時に硬直することがあると言われています。「木口小平は死んでも口からラッパを離しませんでした」や「弁慶の立ち往生」は法医学的に説明ができると言われています。

検視の中で文章にするのを躊躇するような諸々の死があります。検視官として自分の胸の中に仕舞い込んで置きます。ご遺体は何も話してはくれませんが、丁寧にご遺体を検視することによって、体自身が訴えたいことが判るような気が致します。

この経験を胸に、四国 88 か所の霊場を回り、慰霊の旅に行きたいと思っています。 合掌

6. 幹事報告

内山幹事



毎回、お話しておりますが、本年度、初めて財政上の危機を迎えてしまいました。そこで、理事会で種々検討した結果、「会員の皆様方にご意見をいただくべきだ」ということになり、アンケート形式でご回答いた

だくことにいたしました。忌憚のないご意見をお聞かせいただき、集約の結果を踏まえ、その対応策を検討していきたいと考えております。

来月 10 月の例会で資料をお渡しいたします。アンケートをお書き頂く前に、財政内容を記載した 6 年間の財政分析表を添付いたしますので、その資料をご覧頂き回答くださるようお願いいたします。

7. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

山口委員長

例会の出席状況は、出席 57 名、欠席 7 名、休会 4 名で出席率は 89.1%でした。今後とも欠席の際は、事前の連絡を宜しくお願いします。

(2) 情報委員会

山崎委員長

「プロバスだより 262 号」をお手元にお届けしました。今月号の編集はベテランの田中委員によるも

のです。ご一読下さい。

(3) 会員委員会

戸田委員長

今年度より各会費等の集金方法が変わりました。例会、会員、研修委員会の責任者で打ち合わせをしたいと思います。また、新年度も三カ月目に入りましたので、新会員の紹介等をよろしくをお願いします。

(4) 研修委員会

竹元委員長

① 野外研修

- ・本日ご案内を配布しました。お帰りまでにご出欠のお返事をお願いします。
- ・ご出席の方については、10月の例会の際に会費4,000円を徴収します。

② 卓話

- ・本日は井上さんからお話しいただきありがとうございました。
- ・来月は大澤さんから「野菜をめぐる情勢」というテーマでお話を伺う予定です。

(5) 地域奉仕委員会

永井委員長

生涯学習サロンの話し手はほとんど決まってきました。2～3名不確定な方がいらっしゃいますので、どなたかに話し手になっていただくようお願いする場合があります。その折はよろしくお願い致します。

(6) 交流担当

浅川担当理事

多摩プロバスクラブの倉賀野前会長様から、立川会員に卓話をお願いしたいと連絡がありましたので、多摩プロバスクラブ担当者と立川会員に打ち合わせをして頂き、11月1日に多摩プロバスクラブでの卓話が決まりました。

この後、東日本ブロック交流会について立川会員よりご案内がありますので、宜しくお願い致します。

(7) 宇宙の学校

下山リーダー

八王子「宇宙の学校」の活動は第2学期と合わせて、9月から再開されました。

皮切りは10日の本部会場・教育センターで、76組中68組の参加で、よい参加率でした。

「大気圧を体感しよう」や「熱気球を作って打ち上げよう」では歓声が上がりました。9月中に2回、10月中に4回のスクーリングがあります。

本部会場は、今年度も東京薬科大学および創価大

学の学生ボランティアが集まり、工科大会場では工科大生、北高では高校生科学部員と創価大学生がそれぞれサポートしています。

ボランティアの活躍で、我々プロバスクラブのスタッフは、参加者親子に直接指導する機会は少なくなりました。東京八王子プロバスクラブから参加する方は少なくなりがちですが、大勢来てほしいと考えております。多くの大人たちが参観してくれているという雰囲気がとても刺激になり、お父さんお母さんも子供も緊張感をもって楽しめます。気持ちの良い、充実した「宇宙の学校」のために、是非参加して下さい。登録していない方でも参加の意思のある方は、私か寺田サブリーダーまでご連絡ください。

今月の宇宙の学校

第2学期の『宇宙の学校』が始まりました。

9月10日（日）本部会場・八王子市教育センター

9月16日（土）都立北高校会場

テーマは共に、●大気圧を体感しよう、●熱気球を作って打ち上げよう、でした。



・大気圧ってすごい、強いぞ！
それ、がんばれ！

<熱気球を作って
打ち上げよう>

あがるかな・・・





すごいね！大成功！

8. 同好会からのお知らせ

(1) ゴルフ同好会

持田律三

秋に入りゴルフシーズンになりました。

10月・11月にはそれぞれゴルフコンペが予定されております。同好会会員皆さまの多くの参加をお願い致します。

① 多摩地区3プロバスクラブ合同コンペは10月20日(金)にGMGゴルフ場で開催されます。

② 八王子プロバスクラブ・ゴルフ同好会の秋のコンペは11月10日(金)にGMGゴルフ場で開催されます。今回は同好会のメンバーに体調不良や日程都合の付かない方が何人かおりますので参加者がいつもより少なくなります。同好会のメンバーになっていない方でも、また、日頃ゴルフをやっていなくても、この機会にやってみたいという方は参加大歓迎です。

参加希望者は① 9月25日、② 9月30日までに所定の用紙にて持田宛に申し込みください。お待ちしております。

(2) 古典芸能鑑賞会

池田ときえ

秋の八王子市民文化祭で「謡曲・仕舞の会」が行われます。能の魅力、鑑賞の仕方など初心者向けのお話と実演がありますので、ぜひご参加ください。

11月4日(土) 11時～15時 入場無料

八王子市芸術文化会館(いちょうホール)小ホール

(3) 美術鑑賞会

池田ときえ

多摩の美術館、作家を訪ねる企画を重ねています。夢美術館の今期の企画展「昭和の洋画を切り拓いた若き情熱」ではおなじみの小島善太郎、佐伯祐三他の作品が展示されます。

9月15日(金)～11月5日(日) 65歳以上 350円

10時～19時(入場閉館30分前まで) 月曜休館

八王子市夢美術館 八日町ビュータワー八王子 2F

(4) お茶の会

宮崎浩平

台町市民センターの依頼でプロバス出前講座としてお茶会を開催します。「台町市民センター文化祭」

10月22日(日) 10時から5時までです。

皆さんお誘い合わせてぜひご参加ください。

9. その他

(1) 第2回東日本ブロック交流会開催案内

実行委員長 立川富美代

昨年9月開催の第1回大会に引続き、本年も皆様のご要望にお応えし、次の要領で開催致します。皆様、どうか奮ってご参加くださるようご案内申し上げます。



・日 時：平成29年11月

28日(火)11時受付

・11時30分開会～15時閉会

・会 場：八王子エルシィ4F

・会 費：7,000円

・申込期限：平成29年11月10日

・プログラム ① 開会セレモニー

② 交歓プログラムほか

(2) 肥沼信次博士の顕彰碑建立の報告

岩島前会長

9月3日(日)中町公園におきまして、念願の肥沼信次博士の顕彰碑の除幕式が執り行われました。

八王子学園高等学校の生徒による吹奏楽が響く中で、狭い場所ですが盛大に行うことが出来ました。

皆様方から頂いた貴重な献金によって建立された顕彰碑は、この除幕式により八王子市に寄贈され、今後は八王子市が維持管理をしていくことになりま

す。「肥沼信次博士の偉業を後世に伝える会」としましては、今後も活動を続けていきますが、これで一つの大きな区切りとなりました。

まだ御覧になってない方は是非顕彰碑をご覧ください。八王子駅北口から八日町に通じる放射線通りのほぼ真ん中あたりにある中町公園に立派な顕彰碑が立っております。



10. プロバスクラブの設立経緯について

杉山友一

(1) プロバスクラブ発祥の背景

1960年代初頭の英国では、ロータリアンが現役を引退し後進に道を譲ると、厳格な職業分類制度（一業種一人）の下では、ロータリーの会員資格も後進に譲ることとなっていた。

そんな中で、引退した会員たちは、日常の物足りなさ、寂しさなどから、改めてロータリークラブをスポンサーとしたOB中心のクラブを思いついた。またそんな折、組織上ロータリーとは縁の薄



い官界のOBや企業組織の管理職、有識者のOBたちの存在にも着目して勧誘に努め、多様多彩な人材を擁するクラブの創立が図られた。設立の経緯は、まず1965年イギリス・ウェルウィングガーデンシティーRCがスポンサーとなり「キャンパスクラブ」を設立、翌1966年、同国のキャスターハムRCがスポンサーとなり、同様のクラブを組織した。

その後、同国ブルムスグローブRCが二つのクラブの合併をスポンサーして、「プロバスクラブ」と改称し、コンセプトを明確にして大いに進展、その後の発展の礎となった。

(2) 国際ロータリーの取り組み方、そして日本

国際ロータリー（RI）は、1985年にRI会長指針として、プロバスクラブ設立支援活動をロータリーの社会奉仕活動の典型的な活動例として各クラブに推奨した。そして、この方針に日本国内でいち早く反応したのが西日本の地区ガバナーたちで、RIの方針に従ってプロバスクラブの設立に力を注いだ（設立1号は1988年、兵庫県上郡PC）。

一方、東日本の地区ガバナーたちは、ロータリークラブそのものの拡大に躍起で、その頃はプロバスどころではなかったのだ。したがって、当初の我が国のプロバスクラブの設立は圧倒的に西日本優位の情勢であった。

東日本では西の兵庫県に遅れること6年、1994年、群馬高崎プロバスクラブが最初のクラブである。

(3) 八王子プロバスクラブの設立

私が八王子南ロータリークラブの社会奉仕委員長年度の年度に開催された東京の地区協議会（1994年5月）で、高齢者対象社会奉仕プロジェクトとして、プロバスに関する西日本現象が議論された。まさに私は目から鱗の思いがした次第で、早速その議論（プロバス設立支援活動）をクラブに持ち帰った。そして、当時、東京でプロバス設立支援に先行している品川ロータリークラブとも情報交換をしながら、大八王子市の将来に向けて真に相応しいテーマとして、当時現役を引退直後の大野聖二会員に相談を持ちかけた。話は一気に進んで、南ロータリークラブ創立10周年記念事業の大きな柱に仕立てることが出来た。

その後はまさしく一瀉千里で、設立準備委員会（大野聖二委員長）を中心に、関係者一同のご努力を得て、紳士淑女のチャーターメンバー33名が集結、1995年10月、当時の丸山地区ガバナーの公式訪問に合わせて、めでたく東京八王子プロバスクラブの船出となりました。因みに今、チャーターメンバー（創立会員）で、アクティブメンバーは僅か8名である。

11. プロバス賛歌斉唱

12. 閉 会

馬場副会長

本日の例会では、我がクラブ及び会員の活動領域の広さと多様さを再認識しました。

プロバスクラブが英国で生まれ各国に広がった背景と当クラブの発足の経緯、東日本ブロック交流会の主催、大事件を含む検視活動の紹介、2名の会員の書籍出版、会員のTV出演、肥沼博士の顕彰活動等々です。皆様、来月もお元気でご参集下さい。



ハッピーコイン

◆八王子市こども科学館リニューアルオープンし、JAXAから国際宇宙ステーションの大模型が来て大盛況、宇宙少年万歳。JAXA相模原の恒例の公開日は、今年も親子づれで盛況でした。下山 邦夫
◆86歳を前に最後のモンゴルに行ってきた。8回目でした。何度見ても変わらぬ広い草原や動物たち。20年来の友人に会いました。故桂会員の開かれたモンゴルとの交流がこれからも続けばと祈っています。立川富美代

◆第2回全日本東日本交流会の準備が整いました。ホストクラブとして皆様のご協力をいただきまして成功裡に終えたいと願っております。立川富美代
◆高齢で無理かと思っていたモンゴル旅行に無事に行けました。星の美しさ、悠々とした遊牧生活、山羊、羊、牛、馬、モンゴル犬に接することができ大喜びでした。土井 俊玄

◆第2四半期に入ります。これからイベント対応で忙しくなります。よろしくお願い致します。

武田 洋一郎

◆八王子南ロータリークラブからのお客様を歓迎して！！

杉山 友一

◆甲府市は平成31年（2019年）に武田信虎公（信玄の父親）がつつじが崎に館を構えた永正16年（1519年）のこうふ開府から500年を迎えます。8月19日に500日前のカウントダウンイベントがあり大きな感動をいただきました。飯田富美子

◆今月、79歳となりました。今後もプロバスライフ

をエンジョイいたしたく、よろしくお願いします。

馬場 征彦

◆待望のモンゴル旅行に参加させていただきました。広大な大草原や星空は期待以上で、すばらしく計画された旅を心ゆくまで堪能しました。田中 信昭

◆八王子市市制100周年、おめでとう！私は、この佳い年に、八王子に在住できて嬉しいです。100年前の「大正ロマン」のリベラルでクリエイティブな精神を受け継いでいきたいものです。山形 忠顯
◆今月18日から9日間サハリンと北海道の船旅を楽しんできます。荷物は既に横浜に送っております。

野口 浩平

◆サッカーW杯への日本代表チームの出場が決まりました。釜本世代の元サッカー選手として豪州との決戦はエキサイティングで結果はハッピーでした。

一瀬 明

◆「皇室って何だ」という本が9月22日付けで扶桑社から出版されることになりました。お読みいただければうれしく存じます。

竹元 正美

◆私の熱海リゾートマンションに会員の阿部様がいらっしゃいました。以前からの顔見知りでしたが先日気がつきました。

杉田 信夫

寄 稿

老いのペース

岩島 寛



年を重ねると、誰しも機械と同じで、ガタや構造疲労が生じ、ついついそれがぼやきとなる。このぼやきを最も簡潔に表現するのが川柳である。

最近、NHK クローズアップ

現代、毎日新聞、「シルバー川柳」などで紹介された何とも可笑しくもあり、かつ身につまされる思いをした川柳を拙い私のコメント付きでご披露します。
「さからわず ただうなずいて したがわず」

——このしたたかさ、亭主か、女房か

「おーいお茶 さけんで自分で 入れに行く」

——リタイア後の権威失墜の亭主だな

「大事なら しまうな 二度と 出てこない」

——わが身を振り返り苦笑する

「長生きは したくないねと ジム通い」
 ——やっぱり長生きしたいんだ
 「歯を無くし そばの食い方 イキになり」
 ——負け惜しみの感なきにしもあらず
 「帰宅して うがい手洗い 皿洗い」
 ——家事苦手亭主のせめてもの罪滅ぼし
 「このオレに 温かいのは 便座だけ」
 ——女房に温めてもらう策を考えろ
 「老人会 みんな名医に 早変わり」
 ——共通の話題、最後はそこへ行く
 「乾杯の 前に黙祷 クラス会」
 ——黙祷が翌年も続けば、次は中止だな
 「アーンして 昔ラブラブ いま介護」
 ——情けないが、これが現実
 「歳とれば 誰でも貰える 脳減る賞」
 ——全く嬉しくないノーベル賞だ
 「マイナンバー ナンマイダーと 聞き違い」
 ——難聴の上にカタカナが飛び込むから
 「スマートフォン 痩せる本かと 聞く親父」
 ——時代に追いつけぬ我が身を思う
 「三時間 待って病名 加齢です」
 ——言われずとも わかつとるわい
 「子に告げる 胃酸過多だが 遺産なし」
 ——それでいいのだ

老いの悲哀を感じさせる綾小路きみまろ張りに
 18歳と81歳の皮肉交じりの対比語録をご披露しま
 す（高校の同窓会で配られたもの）

- ・18歳は暴走する 81歳は逆走する
- ・18歳は恋に溺れる 81歳は風呂に溺れる
- ・18歳は心がもろい 81歳は骨がもろい
- ・18歳は偏差値が気になる 81歳は血糖値が気
 になる
- ・18歳はまだ何も知らない 81歳は何も覚えて
 いない
- ・18歳はオリンピックに出たい 81歳はオリン
 ピックまで生きたい
- ・18歳はアプリを漁(アサ)る 81歳はサプリ
 を漁(アサ)る

竹元会員の「テレビ出演と出版」については
 264号に掲載します。どうぞお楽しみに。

俳句同好会便り

私の一句〜9月の句会から

河合 和郎

虫時雨が夜毎に聞かれる季節になった。俳句子に
 とっては句材に事欠かない好季節の到来。個性的か
 つ魅力的な作品が句会を賑わしている。

窓越しに薄く消へゆく遠花火 立川富美代

花火の持つ華やかさと影を詠む。しばし明るさを見
 せていた夜空は、やがて闇の色に沈む。

紫陽花や変化仕上げのモスグリーン 山形 忠顯

花色を変えつつ咲く紫陽花は別名を「七変化」とも
 呼ばれる。「変化仕上げ」とは言い得て妙。

今は昔稲刈鎌が田を走り 東山 榮

昔の稲作は人の手で行う辛い農作業であった。機
 械化された今様に、自身の体験を重ねる作者。

稲架照らす光り消へゆく能登の海 矢島 一雄

能登の夕焼けを、棚田の稲架を染める光りの変化
 で一句を仕立てた。大景が浮かぶ佳句となった。

どんぐりの内緒話の昼下り 池田ときえ

小枝の先に固まって生るどんぐりの姿が可愛らし
 い。どんぐり達は何を話しているのだろうか。

大草原音なき風に星流る 田中 信昭

モンゴルの大草原の旅を一句に。満天の星空と流
 星と果てしなき大草原が立体的な景で迫ってくる。

百枚の棚田かけ下り青田風 飯田富美子

棚田の青田の光景を詠んでうまい。棚田の立体感
 と青々と揺れる青田の連なりが目に浮かぶ。

裏店の白き貼紙新豆腐 馬場 征彦

新大豆で作った豆腐は甘い風味があって旨い。作
 者は「新豆腐あり」の貼紙に季節の味を思った。

一夜明け秋は勝手に歩き出す 河合 和郎

四季の移ろいは思いがけずふいに訪れる。折々に
 楽しめる日本の四季が俳句の文芸を育ててくれた。

編集後記：今回も多くの方々から記事のご提供
 をいただき、なんとか編集作業を終えた感じで
 す。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

杉山会員の「クラブ設立の経緯」を聞きなが
 らプロバスの今後の発展を考える際は、「温故知
 新」が大切であると改めて認識した次第です。

有田 進治